



● 散策コース ●

今回は鹿島大野駅から北浦大橋を經由し、大野潮騒はまなす公園を目指すルート。アップダウンが多く距離も長いので、万全の準備で臨みたい。

鹿島大野駅北側の浜津賀地区には鹿島神宮北の一之鳥居がある。水戸方面から鹿島神宮を参拝する際の玄関口であることから、鳥居の周辺は「神戸(こうど)」と呼ばれてきた。鳥居からは旧大野村中心地を通る県道荒井行方線を西に向かって北浦方面へ。途中

●お問い合わせ／鹿嶋市経済振興部商工観光課 ☎0299(82)2911 ●企画・制作／読売茨城広告社 ☎029(244)5555

には津賀城址公園があり、展望台からは北浦や筑波山、天気良ければ富士山を見ることもできる。

北浦の沿岸を散策したら、次は大野潮騒はまなす公園を目指す。5月から6月はハマナスが咲く季節で、鹿嶋市は太平洋側のハマナス自生南限地帯となっている。公園内には多くのハマナスのほか、さまざまな植物が訪れる人を和ませる。また、弁天池を囲む日本庭園や溪流散策路があるほか、太平洋に向かって滑り降りる全長154mのジャンボ(ローラー式)すべり台は子どもたちに大人気。夏の潮風を感じながら海辺の公園を楽しもう。



●鹿島神宮北の一之鳥居
鹿島神宮にはかつて、東西南北に一之鳥居があった。平成29年に北の一之鳥居が再建されたことで、全てがそろった。戸隠神社が隣接しており、境内は「神戸森」と呼ばれた。



●大野潮騒はまなす公園
海拔77mの高さから360度のパノラマが楽しめる宇宙展望塔が目印。平成24年度に導入されたデジタルプラネタリウム、郷土資料館、美術館が併設されている。



●はまなすの精の像
鎌倉時代中期から戦国時代末期ごろの城郭で、城主は津賀氏と言われている。主郭は公園として整備されており、土塁や空堀が往事の姿をしをばせる。

Vol.87

鹿島臨海鉄道 大洗鹿島線

駅からのふるさと紀行

かしま おおの

鹿島大野駅

かしま なた ちよじやがはましおいはまなすこうえんまえ

鹿島灘 長者ヶ浜潮騒はまなす公園前

●次回は7月28日 ※イラストはイメージです。
「中菅谷駅」を掲載予定です。



いきいき茨城ゆめ国体2019 を応援しております。

働く人と、世界を走る。

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社／〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)
https://www.ibaraki-isuzu.co.jp



●「関東の駅百選」に選定された鹿島大野駅。大洗鹿島線からは唯一、選ばれている。



●ホームは島式で1面2線。風雨をしのげる待合室もある。 ●駅の東側は東西自由通路で結ばれている。

鹿島臨海鉄道・大洗鹿島線の銚田市以南は、太平洋と北浦に挟まれた台地を走る。鹿島大野駅は昭和60年3月、大洗鹿島線開通と同時に開業した。開業当時、駅のある地区は大野村だったが、平成7年に鹿島町と合併し、鹿嶋市となった。

ヨットのメインマストをモチーフにした駅舎が特徴の駅は、平成11年、「関東の駅百選」に選ばれた。駅舎の前には駐車場を兼ねた広いスペースがあり、北側には土地改良事業の竣工を記念した碑が建っている。

駅の西側には鹿嶋市役所大野出張所や消防署などがあり、かつて村の中心だったことをしのばせる。大野地区はここ数年、鹿嶋市北部の拠点として、にぎわいの創出や公園の配置、道路の整備など、住みよい市街地の形成が図られてきた。海、湖、台地が交わる自然豊かな大野地区をのんびりと散策してみよう。

平成11年、「関東の駅百選」に認定。旧大野村の中心地近くにある駅。